

イイギリ ＜飯桐＞	学 名 <i>Idesia polycarpa</i> 別 名 分 類 イイギリ科イイギリ属（落葉高木） 分 布 本州、四国、九州、沖縄、朝鮮、中国、台湾 用 途 庭木、公園・街路樹、器具材、下駄
解 説	山地に生える。高さ15～20mになり、太い枝を車軸状に広げる。樹皮は灰白色。葉は互生し、長さ10～20cmの卵円形で、裏面は白っぽい。葉柄の先端に2個の腺体がある。4～5月、枝先に長さ20～30cmの円錐花序をだす。雌雄異株。花弁はなく、萼片は5個で緑黄色。雄花は直径約1.5cm。雌花は直径約8mm。果実は直径8～10mmの球形で赤く熟す。
	枝・葉
	幹
	花
	実